

平成22年度
商工会事業評価システム
年次報告書

商工会事業評価システム

～成果主義を背景とした「目標対成果」の自己検証～

“即ち、限られた財源の中でいかに事業を効率化し、
実行性のある事業を展開して行くか”

理事会 報告日 平成22年 5月13日（予定）

総（代）会報告日 平成22年 5月26日（予定）

入力年月日	平成22年4月16日
商工会コード	2053
商工会名	太田市新田 商工会
入力担当者職氏名	経営指導員 北山 優
分析シートの枚数	（6）枚

群馬県商工会連合会

1. 評価対象者の概要

(1) 評価対象団体名
(太田市新田) 商工会
所在地(太田市新田金井町607)
(2) 団体の概要
①会員数 (1,232) 名 ②小規模事業者数 (1,893) 名
③職員数 (16) 名 平成22年 3月31日 現在
(3) 構成役員
①会長 (1) 名 ②副会長 (2) 名 ③理事 (30) 名
④監事 (2) 名
(4) 評価事業期間
平成21年4月1日から平成22年3月31日
(5) 評価算定者
職名 (事務局長)
氏名 (栗原 精)
<記入上の注意>
以下、2. 総括的概要 3. 外的及び内的環境の変化等 4. 重点課題項目の注目すべき実績 (要因を含む)を記入するにあたってのご注意
(1) この年次報告書は、商工会事業評価シートの【定性的評価】をもう少し解 かり易く、【定量的評価】の実績数値を示しながら記載することが求めら れています。
(2) 商工会の1年間の総括的概要、環境の変化(大型店の出店・地域プロジェ クト・役員の改選・職員の人事交流等)並びに年間を通じ特に重点を置いた 事業について、【当初の目標や計画に対しその結果】を比較考量しつつコ メント記述してください。

2. 総括的概要

2007年秋に噴出したサブプライムローン問題による金融危機は、アメリカ発の100年に一度といわれる世界同時不況を招き、今だに日本経済はその影響を受けており、特に地域経済の低迷が長引くことにより中小零細企業にとっては大きな打撃となっております。

管内でも日本経済をリードしてきた自動車産業の落ち込みなどにより、工場では生産ラインの稼働を大幅にダウンさせ、派遣社員の契約打ち切りや正社員の賃金カットなども見受けられ、失業者の増加や新卒者の就職難などは社会問題にもなっております。

こうした状況が続いていることにより、日本はデフレスパイラルに陥ったとさえいわれており、中小企業を取り巻く経営環境は連鎖的な悪循環の中で厳しさを増すばかりであります。

また、事業主の高齢化が進んでいるところにきて後継者が不足しており、事業縮小や廃業による退会者が後を絶たず、このままでは商工会組織の根幹を揺るがしかねない大きな問題となってくることも予想されます。

このような時代に商工会が法制化され半世紀が過ぎようとしておりますが、その間に地域の総合経済団体としての役割を担ってきた三地区の商工会が3年前に合併し、会員間の融和を図りながらスケールメリットを生かした事業展開を重点目標に活動してきました。

しかし、退会者が加入者を大きく上回る現状に於いて、平成21年度では個々の会員支援を強化することを最重要施策に掲げ、支所体制を充実させきめ細かな会員サービスに努めると同時に、部会活動の活性化を図り、地域振興にも力を入れて活動してきた一年でありました。

3. 外的及び内的環境の変化等

外的環境の変化としては、日本経済を牽引してきた自動車産業までもが不況に陥り、また昨今は円高も影響して、中小企業を取り巻く環境は一層厳しさを増しております。

企業・商店では不良在庫の発生が多発している上に、製品・商品の値崩れにより利益が減少し、総体的に企業の財務体質が弱体化している傾向にあります。

それにより就業人員や賃金が削減され失業者が増加し、更に需要が減退して企業収益を悪化させるといった悪循環になりつつあります。

内的環境の変化については、商工会事業の柱となる経営改善普及事業の重要性を見直し、特に巡回・窓口による会員支援の強化を図るため、商工会合併後2年間続けてきた広域体制から支所の職員を増員する体制に切りかえ、迅速できめ細かな会員サービスに努めてまいりました。

4. 重点課題項目の注意すべき実績(要因を含む)

取組んだ重点課題項目の実績(負の結果:達成に至らなかった場合も含む)について「各実施事業毎の評価分析シート(様式-1)」を参考にして総括してください。

(1) 目標・計画

(当初の方針(目標)や計画など)

1. 巡回指導を中心とした経営支援体制の強化
 - ・計画的な巡回訪問と窓口による支援体制を強化し、迅速できめ細かな会員サービスを提供する。
 - ・エキスパートを積極的に活用し、専門的で高度な会員ニーズに応える。
 - ・IT活用による経営効率化の支援
 - ・経営革新及び創業者支援の充実
 - ・各種研修会及び講習会の開催
2. 新規会員の加入促進運動の実施
 - ・地区の役員と連携して、新規会員の加入を促進する。
3. スケールメリットを生かした事業展開
 - ・商工業活性化対策事業を推進する。
 - ・若手後継者等育成事業を拡充する。
 - ・地域振興事業の積極的な取り組み。

(2) 事業の成果・結果

(年次の報告事項)

1. 巡回指導を中心とした経営支援体制の強化
 - ・巡回件数1,820件で前年度対比15%増となり、巡回・窓口合計で3,075件と前年度の指導件数を上回った。
 - ・エキスパート7件・経営安定特別相談室2件・地域力連携拠点事業4件と、専門家派遣事業を有効に活用し高度な会員ニーズに応えた。
2. 新規会員の加入促進運動の実施
 - ・23名の新規会員を勧誘することができたが、加入促進月間を設けて役職員が一丸となり取り組んだ前年度の加入者数31名には及ばなかった。
3. スケールメリットを生かした事業展開
 - ・にっただハッピースタンプ会を立ち上げ、QRコード方式を取り入れたスタンプ事業を稼働させ、商業活性化を推進した。
 - ・部会活動を活発に行なうことにより、商工業の活性化を図った。
 - ・青年部及び女性部活動を通して地域社会に貢献し、総合経済団体としての役割を広くPRすることができた。

(3) 要因分析

(成果・結果に至った原因や要因)

1. 巡回指導を中心とした経営支援体制の強化
 - ・巡回件数が前年度と対比して15%増となった要因は、支所に職員を増員したことで事業所を訪問する時間にロスが少なかったことが挙げられる。
 - しかし、支所に人員を割いたことで総務の機能を果たす本所が手薄になったことや、計画的な巡回訪問とまでは至らなかった点については見直す必要がある。
 - ・巡回訪問により専門家派遣事業や講習会の案内を行ったことで、会員が商工会事業を有効に活用することができた。
2. 新規会員の加入促進運動の実施
 - ・加入者が23社あったものの、役員との連携を強化しながら会員増強運動に取り組まないと、思うように成果が上がってこないのが検討を要したい。
3. スケールメリットを生かした事業展開
 - ・シールポイントカードからQRコード方式に切り替えたことで、扱いが便利になり経費も削減できた。
 - ・部長を始めとする役員の熱意により、年々部会活動は活性化し会員間の結束も強まっている。
 - ・青年部及び女性部の活動を通して、社会に奉仕し地域に貢献できる人材が数多く育成されている。

- (1)重点課題項目について作成してください
 (2)実施事業が複数ある場合は、複数枚作成してください

様式 ー 1

商工会事業評価システム 評価ツール

平成22年度

入力年月日	平成22年4月13日
商工会コード	2053
商工会名	太田市新田
入力担当者職氏名	経営指導員 荒木美智
分析シートの枚数	(6)枚中の(1)枚

< 評 価 分 析 シ ー ト >

実施事業名	2. 創業・新分野進出支援関連事業	地域力連携拠点事業(創業)専門家派遣
-------	-------------------	--------------------

	アウトカム（何がもたらされたか）	アウトプット（何をしたか）
成果目標	事業主の高齢化・後継者不足・売上減少などにより、廃業となる事業所が多い中、創業するという貴重な存在を大切に、長く継続できる経営力を身につける。	巡回により地域の情報を収集し、創業間もない事業所へのアプローチをし、経験不足による不安解消のため、専門家による指導を積極的に利用する。
事業成果	2度の専門家派遣(1.利益の出る経営と地元農家や商店との連携について・2.共同経営のための事業体構築について)により、気の合う仲間ではじめた方達が、事業継続に対する知識を得ることができた。	開業届提出後、程なく代表者変更のため廃業、新代表者による開業と先行き不安材料の多い創業に対し、手続き全般と初めての申告指導。
付随成果	事業所名の商標登録を希望したり、積極的な営業活動を行ったり、チラシづくりをしたりと広い視野で積極的な営業努力を始める。	

指標目標達成への貢献度	低 1 2 3 4 5 高
	貢献度リストボックス入力 4:高い

事業実施の結果評価	右の「評価の区別」を用いて判定入力	<table border="1"> <tr><td>評価の区別</td></tr> <tr><td>1: 継 続</td></tr> <tr><td>2: 見直し</td></tr> <tr><td>3: 廃 止</td></tr> <tr><td>4: 完 了</td></tr> </table>	評価の区別	1: 継 続	2: 見直し	3: 廃 止	4: 完 了
評価の区別							
1: 継 続							
2: 見直し							
3: 廃 止							
4: 完 了							
	<table border="1"> <tr> <td style="background-color: #0056b3; color: white;">判定</td> <td style="background-color: #0056b3; color: white;">継続</td> </tr> </table>	判定	継続				
判定	継続						

入力担当者（評価者）のコメント欄	
(1) 継続・見直しの今後の展開及び方向性 経営初心者の不安の解決と有益な情報提供を継続的に実施する。経理面は煩わしく感じられるが事業展開に不可欠なことなので、記帳指導を行う。	(2) 廃止・完了の今後の展開及び方向性

今後の事業実施により期待される成果	創業者が安心して気軽に相談できるような声掛けにより、創業や新分野進出の潜在ニーズを掘り起こす。専門家の指導を積極的に活用することにより、幅広く対応し、問題解決を図ることができる。
-------------------	---

- (1) 重点課題項目について作成してください
 (2) 実施事業が複数ある場合は、複数枚作成してください

様式 ー 1

商工会事業評価システム 評価ツール

平成22年度

入力年月日	平成22年4月14日
商工会コード	2053
商工会名	太田市新田
入力担当者職氏名	経営指導員 松嶋 康浩
分析シートの枚数	(6) 枚中の (2) 枚

< 評 価 分 析 シ ー ト >

実施事業名	3. 情報化関連事業	パソコンセミナー
-------	------------	----------

	アウトカム（何がもたらされたか）	アウトプット（何をしたか）
成果目標	初めてパソコンを習う人を対象に、ワード・エクセルの基本操作を講習することで、IT活用能力の向上を図る。チラシの折込みをして一般の方も受講できるようにすることで、商工会の地域社会への貢献度をPRできる。	専門の講師を頼まず、職員全員が講師とアシスタント（各コース2名）を務めた。自分が教えることで、教えることの難しさや教えるポイントを体験できた。
事業成果	ワード・エクセルを昼・夜のコース、各15名定員で実施した。ほぼ定員近くの人数が参加して盛況であり、約4分の3は一般の方の参加であった。商工会の認知度の向上には結びついた。	講師がパソコンのエキスパートではないので、初級者が陥りやすい間違い等理解でき、パソコンの基本操作を分かりやすく教え、参加者は操作ができるようになった。また休憩時間の参加者との雑談の中で、商工会の事業等を説明し、商工会への理解が深まった。
付随成果	会員へは商工会開催の講習会やエキスパート事業などを案内し、参加要請を図り商工会事業をPRする。	

指標目標達成への貢献度	低 1 2 3 4 5 高
	貢献度リストボックス入力 3:普通

事業実施の結果評価	右の「評価の区別」を用いて判定入力 <div style="display: flex; justify-content: center; gap: 20px;"> 判定 見直し </div>	評価の区別 1: 継続 2: 見直し 3: 廃止 4: 完了
-----------	---	--

入力担当者（評価者）のコメント欄 (1) 継続・見直しの今後の展開及び方向性 適切なパソコン講習用テキストを見つけることや、講師のレベルアップも必要になる。		(2) 廃止・完了の今後の展開及び方向性
--	--	----------------------

今後の事業実施により期待される成果	商工会に未加入の事業者への勧誘活動と商工会の地域社会へのイメージアップに役立つ。
-------------------	--

- (1)重点課題項目について作成してください
 (2)実施事業が複数ある場合は、複数枚作成してください

様式 ー 1

商工会事業評価システム 評価ツール

平成22年度

入力年月日	平成22年4月14日
商工会コード	2053
商工会名	太田市新田
入力担当者職氏名	経営指導員 市村 宣行
分析シートの枚数	(6)枚中の(3)枚

< 評 価 分 析 シ ー ト >

実施事業名	8. 組織基盤強化関連事業	新入会員の加入促進運動の推進実施
-------	---------------	------------------

	アウトカム（何がもたらされたか）	アウトプット（何をしたか）
成果目標	商工会会員の増加を諮り組織強化と自主財源の確保を目標とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会役員による紹介 ・商工会職員による未加入事業所への商工会加入勧奨を行う。 ・窓口並び巡回相談で個別に加入を勧める。
事業成果	年度中23事業所の新規加入者があった。	増強運動を実施したが、加入者以上の脱会者があり会員数の増加並び組織率の向上には至らなかった。
付随成果		

指標目標達成への貢献度	低 1 2 3 4 5 高
	貢献度リストボックス入力 3:普通

事業実施の結果評価	右の「評価の区別」を用いて判定入力 <div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 2px; display: inline-block;">判定</div> <div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 2px; display: inline-block;">継続</div>	評価の区別
		1: 継続 2: 見直し 3: 廃止 4: 完了

入力担当者（評価者）のコメント欄	
(1) 継続・見直しの今後の展開及び方向性 新規加入事業所数以上の脱会者があり、結果的には会員数は減少してしまっただけ。会の安定的な運営のためにも重要であり、更に積極的に事業継続していく	(2) 廃止・完了の今後の展開及び方向性

今後の事業実施により期待される成果	廃業等による事業所数の減少に伴い会員数の減少が続いており、本事業の積極的な推進により減少に歯止めを掛け商工会の基盤強化を図る。
-------------------	---

- (1)重点課題項目について作成してください
 (2)実施事業が複数ある場合は、複数枚作成してください

様式 ー 1

商工会事業評価システム 評価ツール

平成22年度

入力年月日	平成22年4月13日
商工会コード	2053
商工会名	太田市新田
入力担当者職氏名	経営指導員 堀越日出男
分析シートの枚数	(6) 枚中の (4) 枚

< 評 価 分 析 シ ー ト >

実施事業名	4. 中小商業活性化関連事業	QRコード利用 新スタンプカード稼働
-------	----------------	--------------------

	アウトカム（何がもたらされたか）	アウトプット（何をしたか）
成果目標	全国的に衰退する商店街シール/ポイントカードの方式の見直しを行い、今後の方向性を探りお客様離れを防ぐ。	衰退する商店街活動の歯止めを行うためシール/ポイントカード方式から。諸経費が低く効果の上がる方向の、新スタンプカードQRコード方式を研究しつつ採用目標として行動した。
事業成果	QRコード利用 スタンプ研究会議を行いながら、平成21年9月1日に設立総会を開催し稼働の運びとなった。その後、県地域活性化補助金を利用しつつイベント開催した。	新スタンプ研究会の会合を持ちつつ、先進地のQRコード利用の梅屋敷・梅交商店会街協同組合の意見を問い合わせつつ、今後の方向性を見出した。
付随成果	平成21年9月1日に設立総会を開催し、にったハピスタンプ会を稼働させた。並びに今後の活動調査研究を取り入れを盛り上げる。	

指標目標 達成への 貢献度	低 1 2 3 4 5 高
	貢献度リストボックス入力 3:普通

事業実施の 結果評価	右の「評価の区別」を用いて判定入力	判定	継続			
		<table border="1" style="font-size: small;"> <tr><td>評価の区別</td></tr> <tr><td>1: 継続</td></tr> <tr><td>2: 見直し</td></tr> <tr><td>3: 廃止</td></tr> <tr><td>4: 完了</td></tr> </table>		評価の区別	1: 継続	2: 見直し
評価の区別						
1: 継続						
2: 見直し						
3: 廃止						
4: 完了						

入力担当者（評価者）のコメント欄	
(1) 継続・見直しの今後の展開及び方向性 QRコード利用のスタンプ研究活動を行い、本格稼働お客様サービスに結び付ける。	(2) 廃止・完了の今後の展開及び方向性

今後の事業 実施により 期待される 成果	QRコード利用 新ポイントカード研究を行い平成21年9月1日設立総会を開催し、これからの活動方針が明確化された。
-------------------------------	--

- (1)重点課題項目について作成してください
 (2)実施事業が複数ある場合は、複数枚作成してください

様式 ー 1

商工会事業評価システム 評価ツール

平成22年度

入力年月日	平成22年4月14日
商工会コード	2053
商工会名	太田市新田
入力担当者職氏名	経営指導員 石田哲也
分析シートの枚数	(6)枚中の(5)枚

< 評 価 分 析 シ ー ト >

実施事業名	7. 地域活性化関連事業	部会活動（工業部会）活発化への取組み
-------	--------------	--------------------

	アウトカム（何がもたらされたか）	アウトプット（何をしたか）
成果目標	部会員の事業所訪問、見学をすることにより業界の現状認識を促し、併せて企業間取引の活発化を促進する。	工業部会員企業への見学会
事業成果	部会員相互の結束が図れ、同時に業界の共通の問題点等認識を新たに認識できた。経営や技術に対する向上心を強く持てた。	高機能・高品質化への意識転換 環境保全と共生の意識醸成。
付随成果	部会員相互の活動への意識の高さが順調な活動の歩みを進めている。部会活動が商工会活動の基盤となることを認識し会員間の情報交換・取引活動の活発化を更に推し進めてゆく。	

指標目標 達成への 貢献度	低 1 2 3 4 5 高
	貢献度リストボックス入力 3:普通

事業実施の 結果評価	右の「評価の区別」を用いて判定入力	評価の区別				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">判定 判定</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">継続 継続</td> </tr> </table>	判定 判定	継続 継続		
判定 判定	継続 継続					
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">1: 継 続</td> <td style="width: 50%;">2: 見 直 し</td> </tr> <tr> <td>3: 廃 止</td> <td>4: 完 了</td> </tr> </table>			1: 継 続	2: 見 直 し	3: 廃 止	4: 完 了
1: 継 続	2: 見 直 し					
3: 廃 止	4: 完 了					

入力担当者（評価者）のコメント欄	
(1) 継続・見直しの今後の展開及び方向性 部会自らのオリジナルアイデアを提案し 事業に挑戦してゆきたい。	(2) 廃止・完了の今後の展開及び方向性

今後の事業 実施により 期待される 成果	部会員相互間の受発注の促進
-------------------------------	---------------

- (1)重点課題項目について作成してください
 (2)実施事業が複数ある場合は、複数枚作成してください

様式 ー 1

商工会事業評価システム 評価ツール

平成22年度

入力年月日	平成22年4月15日
商工会コード	2053
商工会名	太田市新田
入力担当者職氏名	経営指導員 北山 優
分析シートの枚数	(6)枚中の(6)枚

< 評 価 分 析 シ ー ト >

実施事業名	7. 地域活性化関連事業	青年部活動
-------	--------------	-------

	アウトカム（何がもたらされたか）	アウトプット（何をしたか）
成果目標	青年部活動を通じて社会貢献を行い、地域の活性化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・かかしまつりで有名な藪塚の地に、ギネスにも認定された高さ10メートルの巨大かかしを建て地域をPRした。 ・市からの委託により、尾島ねぶたまつりでねぶたの製作及び運行を行った。 ・やぶ塚かかし祭りを盛り上げるため、どろんこかかし相撲大会を企画し実施した。 ・部員事業所の取引拡充を目的に、名簿を作成して自社製品・サービス等をPRした。
事業成果	青年部活動を活発に行うことで、地域に活気を取りもどす一助となった。	<p>高さ10メートルの巨大かかしは、テレビやラジオ放送でも取材を受け、全国的に地域をPRすることができた。</p> <p>また、その他の事業も地域活性化への貢献度は高く、行政や住民からも注目をされ地域総合経済団体の一角として存在意義を高めることができた。</p>
付随成果	部員が奉仕の精神をもって青年部活動に参加することにより、行政合併後の新たな仲間づくりの場にもなった。	

指標目標達成への貢献度	低 1 2 3 4 5 高
	貢献度リストボックス入力 4:高い

事業実施の結果評価	右の「評価の区別」を用いて判定入力	評価の区別
	判定 継続	1: 継続
		2: 見直し
		3: 廃止
		4: 完了

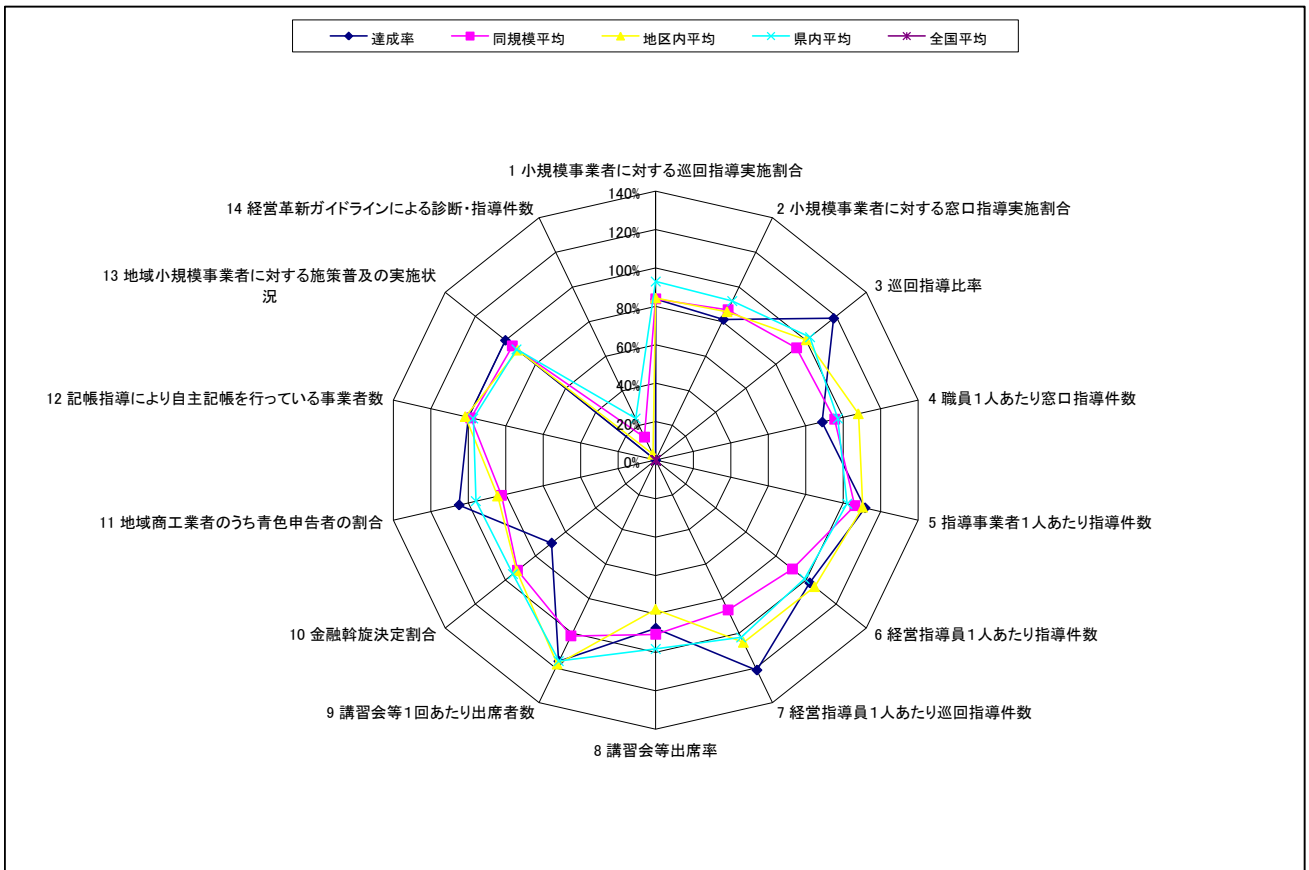
入力担当者（評価者）のコメント欄	
(1) 継続・見直しの今後の展開及び方向性 若手経営者・後継者育成という商工会青年部本来の目的を達成するための事業にも、もう少し重点を置いて活動を展開する必要があるように感じる。	(2) 廃止・完了の今後の展開及び方向性

今後の事業実施により期待される成果	<p>衰退が進む地域に活力を呼び戻すために、「自分達の住む地域は自分達で良くしたい」という心を持つ者が、青年部活動をとおして一人でも多く輩出されることを期待する。</p> <p>また、部員は働き盛りの年齢層で構成されているので、自分の事業と青年部活動を上手に両立させてもらいたい。</p>
-------------------	--

事業区分 1 経営指導関連事業

2053 太田市新田

事業区分	統一指標	達成率	同規模平均	地区内平均	県内平均	全国平均	予備項目
1	1 小規模事業者に対する巡回指導実施割合	84%	84%	84%	93%	0%	
	2 小規模事業者に対する窓口指導実施割合	81%	87%	86%	92%	0%	
	3 巡回指導比率	118%	94%	100%	103%	0%	
	4 職員1人あたり窓口指導件数	89%	95%	108%	97%	0%	
	5 指導事業者1人あたり指導件数	112%	106%	110%	102%	0%	
	6 経営指導員1人あたり指導件数	103%	91%	106%	99%	0%	
	7 経営指導員1人あたり巡回指導件数	121%	87%	105%	102%	0%	
	8 講習会等出席率	87%	91%	78%	98%	0%	
	9 講習会等1回あたり出席者数	116%	102%	118%	116%	0%	
	10 金融幹旋決定割合	69%	92%	92%	95%	0%	
	11 地域商工業者のうち青色申告者の割合	105%	82%	84%	96%	0%	
	12 記帳指導により自主記帳を行っている事業者数	100%	99%	102%	97%	0%	
	13 地域小規模事業者に対する施策普及の実施状況	100%	95%	92%	93%	0%	
	14 経営革新ガイドラインによる診断・指導件数	0%	13%	3%	24%	0%	
合計	平均	91.8%	87.0%	90.6%	93.4%	0.0%	



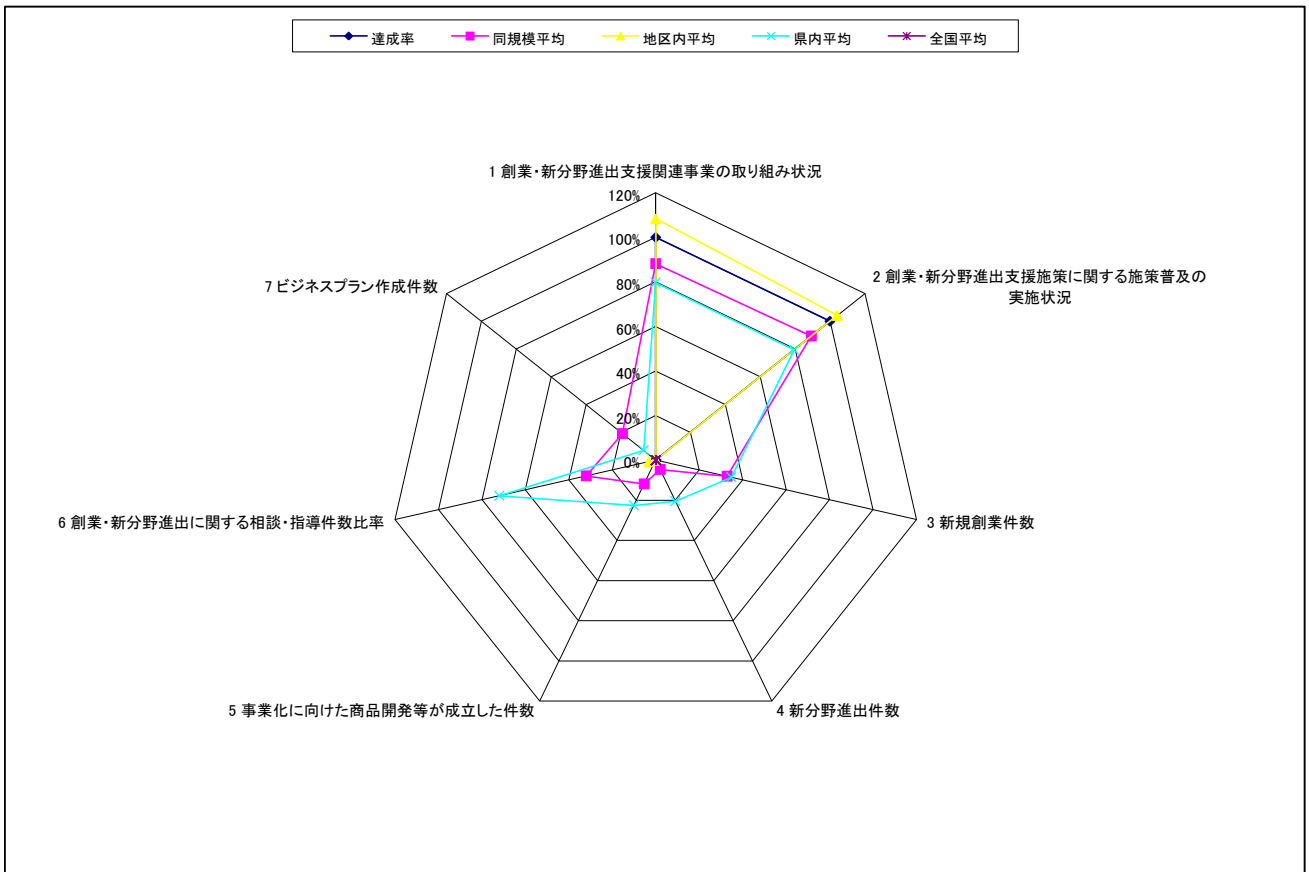
自己評価コメント欄

注目すべき実績または、今後の重点課題項をご記入ください

事業区分 2 創業・新分野進出支援関連事業

2053 太田市新田

事業区分	統一指標	達成率	同規模平均	地区内平均	県内平均	全国平均	予備項目
2	1 創業・新分野進出支援関連事業の取り組み状況	100%	88%	108%	80%	0%	
	2 創業・新分野進出支援施策に関する施策普及の実況	100%	89%	104%	79%	0%	
	3 新規創業件数	0%	33%	0%	35%	0%	
	4 新分野進出件数	0%	5%	0%	20%	0%	
	5 事業化に向けた商品開発等が成立した件数	0%	12%	0%	23%	0%	
	6 創業・新分野進出に関する相談・指導件数比率	0%	32%	3%	72%	0%	
	7 ビジネスプラン作成件数	0%	19%	0%	7%	0%	
合計	平均	28.6%	39.7%	30.8%	45.1%	0.0%	



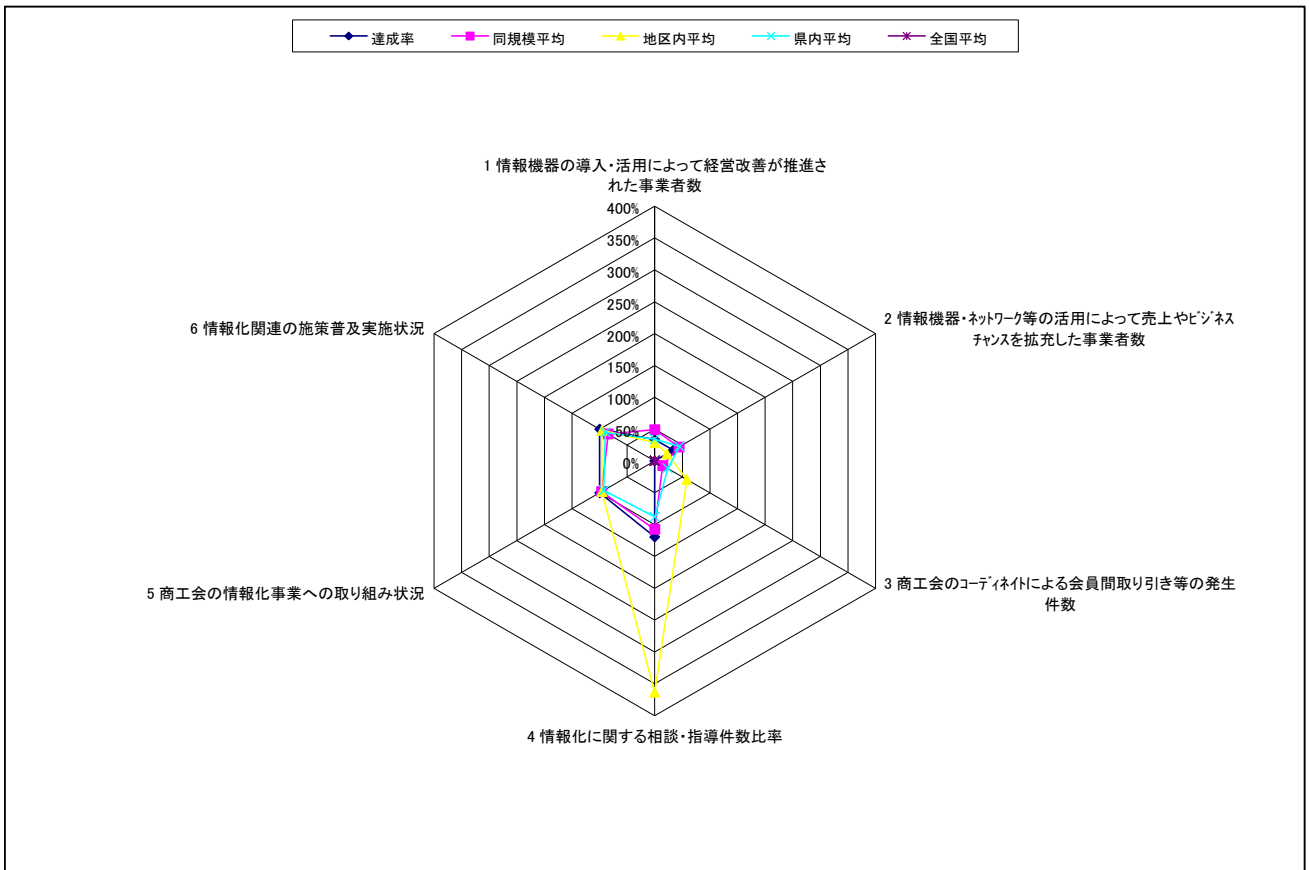
自己評価コメント欄

注目すべき実績または、今後の重点課題項をご記入ください

事業区分 3 情報化関連事業

2053 太田市新田

事業区分	統一指標	達成率	同規模平均	地区内平均	県内平均	全国平均	予備項目
3	1 情報機器の導入・活用によって経営改善が推進された事業者数	33%	49%	29%	34%	0%	
	2 情報機器・ネットワーク等の活用によって売上やビジネスチャンスを拡充した事業者数	33%	44%	22%	45%	0%	
	3 商工会のコーディネートによる会員間取り引き等の発生件数	0%	14%	58%	23%	0%	
	4 情報化に関する相談・指導件数比率	119%	107%	363%	88%	0%	
	5 商工会の情報化事業への取り組み状況	100%	96%	96%	92%	0%	
	6 情報化関連の施策普及実施状況	100%	85%	96%	89%	0%	
合計	平均	64.3%	66.0%	110.7%	62.0%	0.0%	



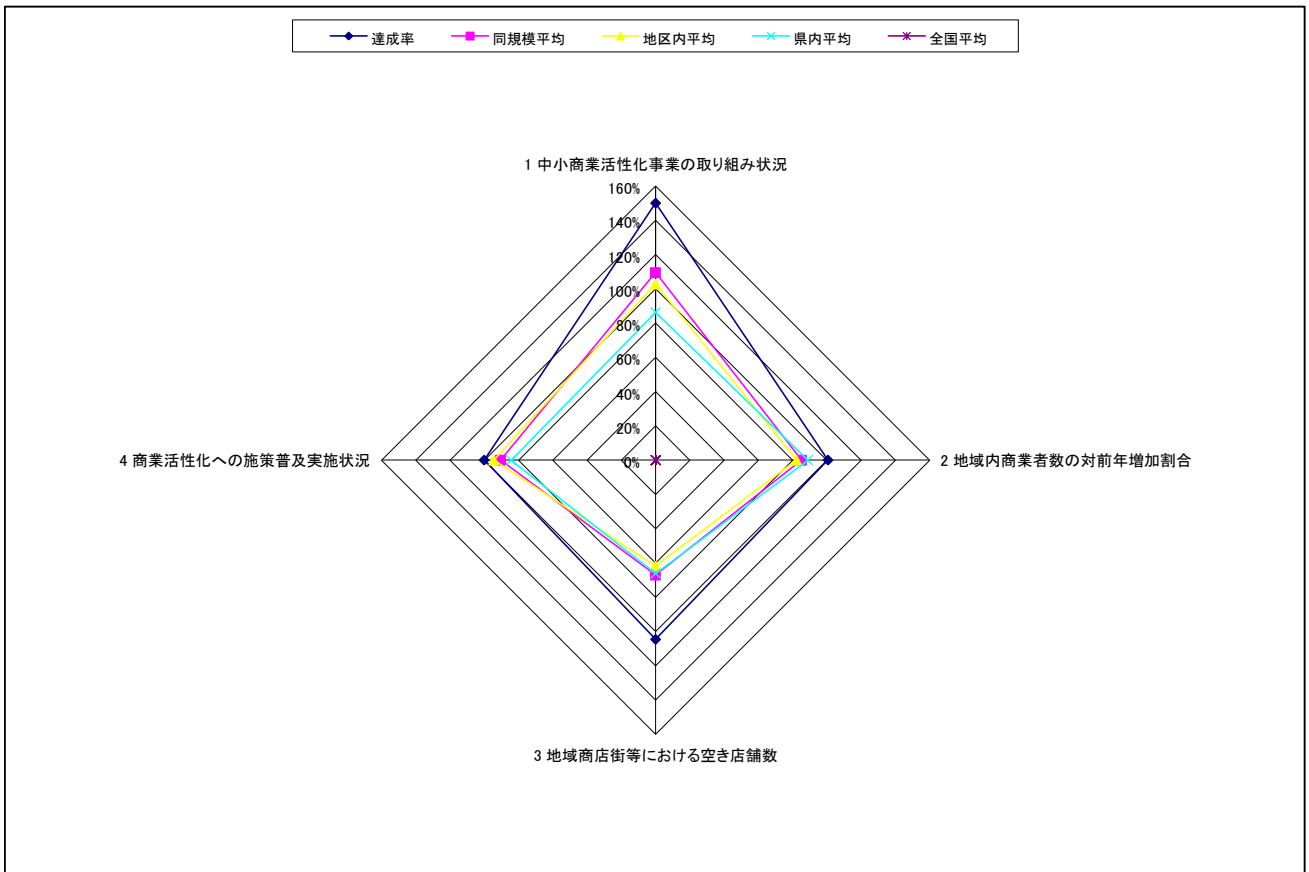
自己評価コメント欄

注目すべき実績または、今後の重点課題項をご記入ください

事業区分 4 中小商業活性化関連事業

2053 太田市新田

事業区分	統一指標	達成率	同規模平均	地区内平均	県内平均	全国平均	予備項目
4	1 中小商業活性化事業の取り組み状況	150%	110%	103%	86%	0%	
	2 地域内事業者数の対前年増加割合	101%	85%	82%	89%	0%	
	3 地域商店街等における空き店舗数	105%	67%	62%	66%	0%	
	4 商業活性化への施策普及実施状況	100%	90%	94%	84%	0%	
合計	平均	113.8%	88.1%	85.3%	81.4%	0.0%	



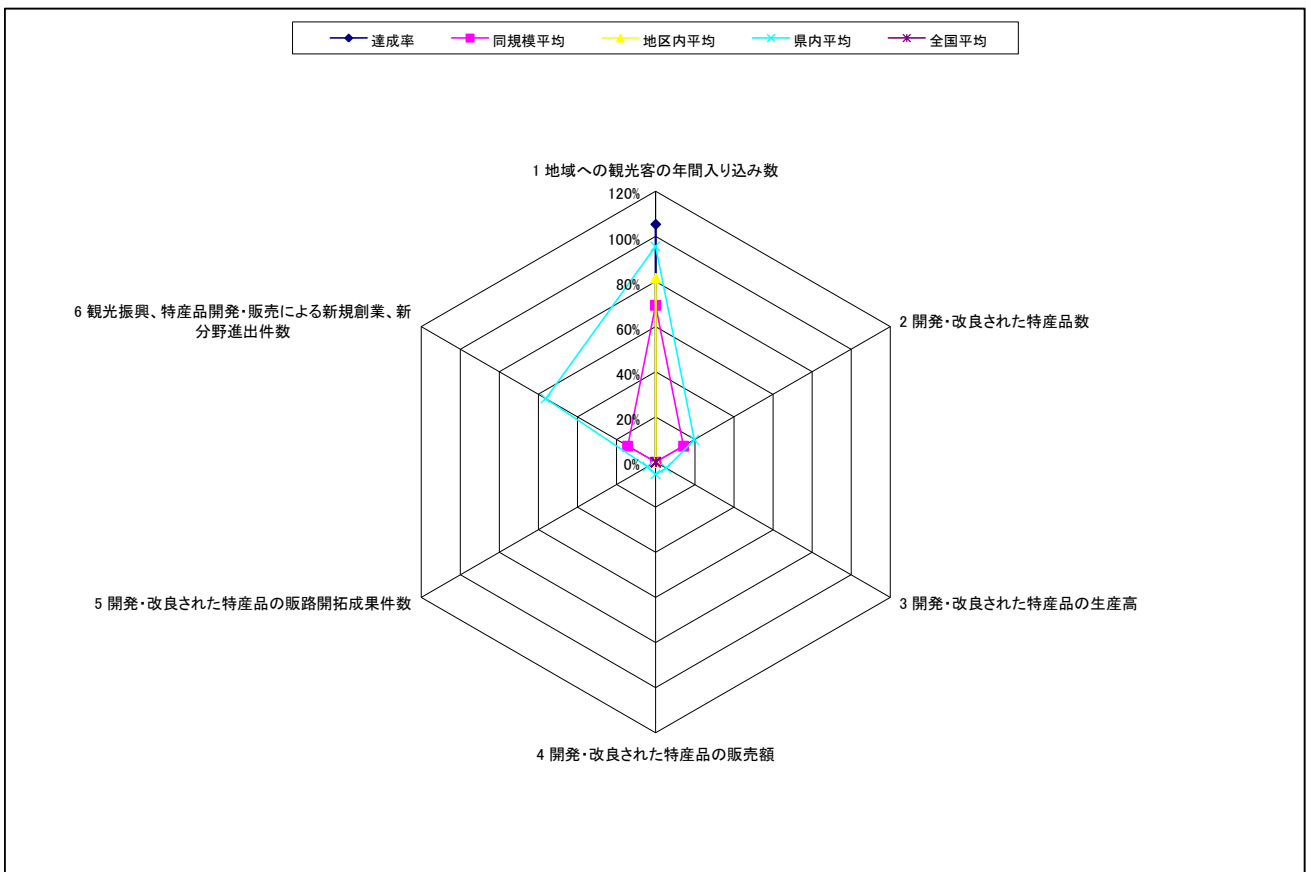
自己評価コメント欄

注目すべき実績または、今後の重点課題項をご記入ください

事業区分 5 特産品関連事業

2053 太田市新田

事業区分	統一指標	達成率	同規模平均	地区内平均	県内平均	全国平均	予備項目
5	1 地域への観光客の年間入り込み数	105%	70%	81%	96%	0%	
	2 開発・改良された特産品数	0%	14%	0%	20%	0%	
	3 開発・改良された特産品の生産高	0%	0%	0%	5%	0%	
	4 開発・改良された特産品の販売額	0%	0%	0%	5%	0%	
	5 開発・改良された特産品の販路開拓成果件数	0%	0%	0%	4%	0%	
	6 観光振興、特産品開発・販売による新規創業、新分野進出件数	0%	14%	0%	56%	0%	
合計	平均	17.6%	16.3%	13.6%	31.1%	0.0%	



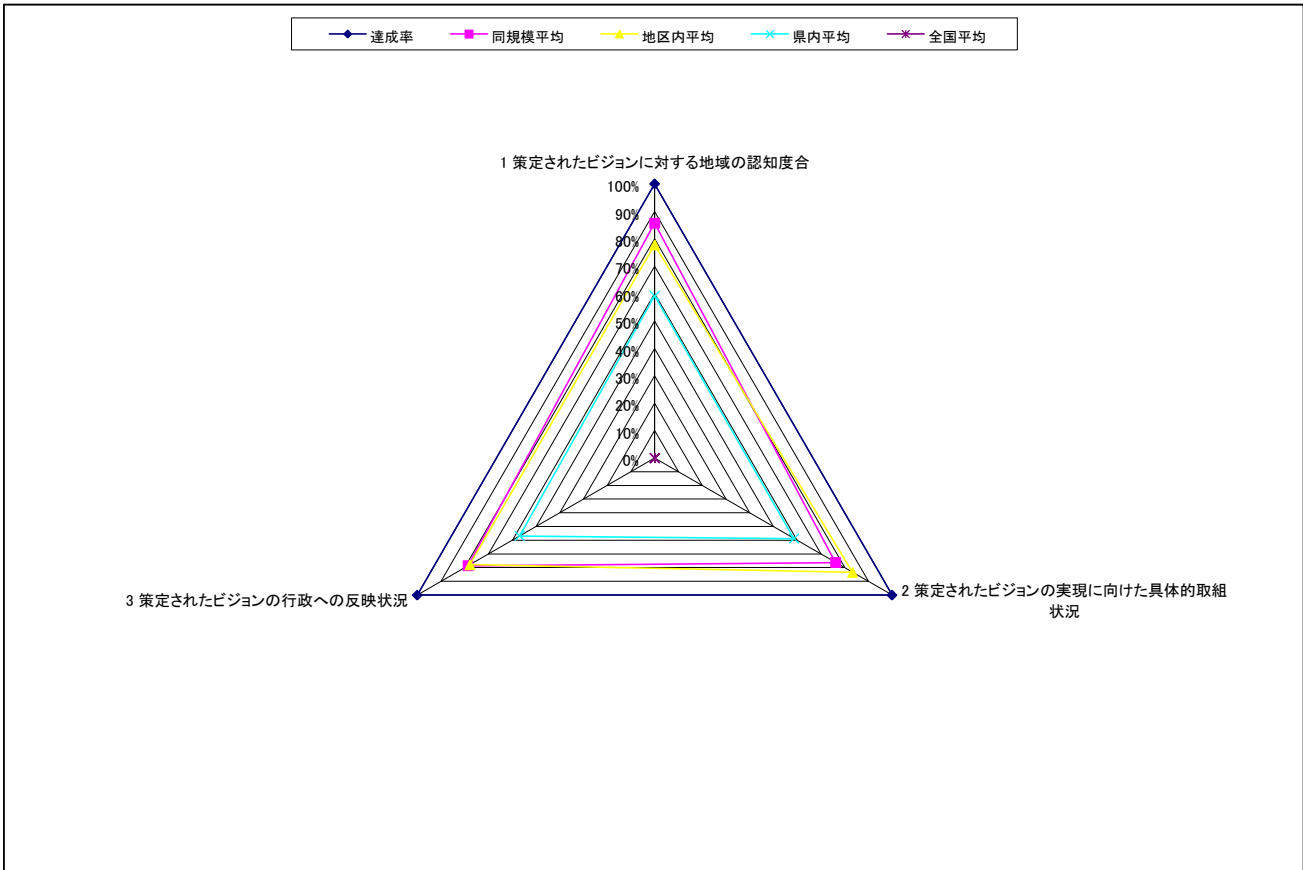
自己評価コメント欄

注目すべき実績または、今後の重点課題項をご記入ください

事業区分 6 ビジョン策定関連事業

2053 太田市新田

事業区分	統一指標	達成率	同規模平均	地区内平均	県内平均	全国平均	予備項目
6	1 策定されたビジョンに対する地域の認知度合	100%	86%	78%	59%	0%	
	2 策定されたビジョンの実現に向けた具体的取組状況	100%	76%	83%	59%	0%	
	3 策定されたビジョンの行政への反映状況	100%	79%	78%	57%	0%	
合計	平均	100.0%	80.2%	79.6%	58.3%	0.0%	



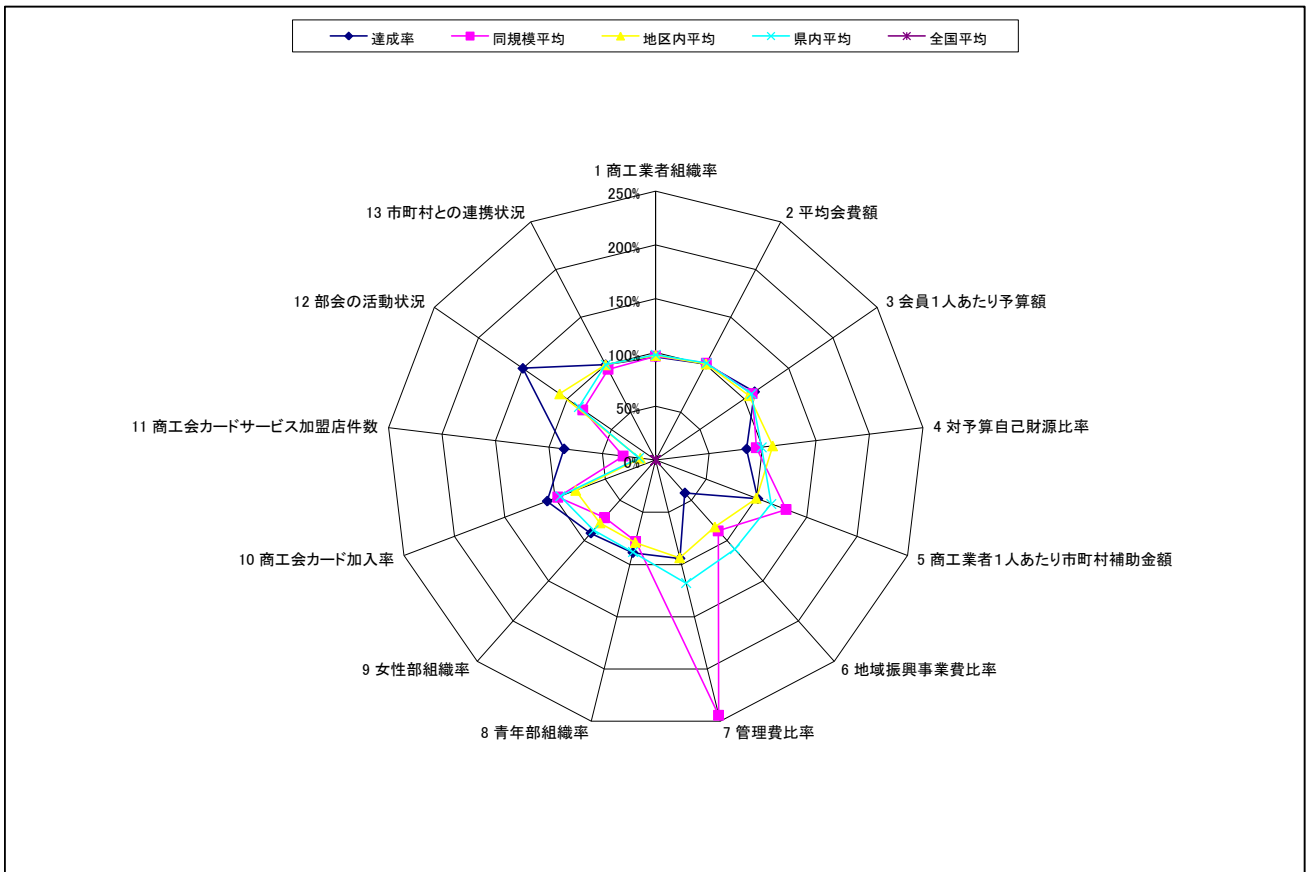
自己評価コメント欄

注目すべき実績または、今後の重点課題項をご記入ください

事業区分 8 組織基盤強化関連事業

2053 太田市新田

事業区分	統一指標	達成率	同規模平均	地区内平均	県内平均	全国平均	予備項目
8	1 商工業者組織率	96%	96%	97%	98%	0%	
	2 平均会費額	101%	102%	101%	102%	0%	
	3 会員1人あたり予算額	112%	109%	105%	108%	0%	
	4 対予算自己財源比率	85%	94%	110%	99%	0%	
	5 商工業者1人あたり市町村補助金額	102%	130%	100%	115%	0%	
	6 地域振興事業費比率	41%	88%	83%	111%	0%	
	7 管理費比率	94%	244%	94%	118%	0%	
	8 青年部組織率	89%	78%	79%	88%	0%	
	9 女性部組織率	91%	71%	78%	87%	0%	
	10 商工会カード加入率	108%	97%	79%	95%	0%	
	11 商工会カードサービス加盟店件数	86%	30%	14%	16%	0%	
	12 部会の活動状況	150%	82%	108%	87%	0%	
	13 市町村との連携状況	100%	95%	100%	100%	0%	
合計	平均	96.4%	101.3%	88.3%	94.1%	0.0%	



自己評価コメント欄

注目すべき実績または、今後の重点課題項をご記入ください
